

9月定例会市議会本会議の一般質問で

古くて水質浄化
装置の無い

学校プール

脇田小学校 (築33年)
第4中学校 (築32年)



門真市議員
亀井あつし

子どもの健康のためにも早期の建替えを

文部科学省基準2倍の遊離残留塩素濃度

学校プール日誌

遊離残留塩素濃度の数値	校(園)長(教)		
	校(園)長	教	校(園)長
7月15日 金曜日	1	2	3
時間	8:10~9:25	9:50~10:25	10:50~11:25
監視者名			
天候	曇	曇時々晴	曇
気温	27℃	28℃	30℃
水温	27.5℃	27.5℃	27.5℃
顆粒剤投入量	100個	50個	個
残留有効塩素濃度(入水時)	2.0PPM	1.5PPM	1.5PPM
水素イオン濃度(入水時)	7.2PH	7.2PH	7.2PH
入水者人員	3人	1人	1人
入水時間	35分	35分	35分
完了確認	ok	ok	ok

学校プールの水質管理の実態を知ってもらうことを目的に掲載しました。学校名と氏名については除きました。

水質管理と児童・教職員の健康と安全問題を取り上げました。

「学校水泳プール水質定期検査報告書」と「プール日誌」を調べたところ遊離残留塩素濃度が文部科学省の学校衛生基準1mg/lの2倍の数値を示しており、学校薬剤師から「塩素濃度が高めにしている」と指摘されました。また、膜を刺激する塩素剤を児童・生徒が手づかみし水着に入れてケガをしたなどの事例をあげながら、学校プー

ルの管理の改善を求めました。

市は、遊離残留塩素濃度が基準値の2倍であったことを認め、「消毒剤についての注意事項の厳守を指導したい」と答弁がありました。



旧南小学校に代わる緊急避難所の確保も

門真市の地域防災基本計画の見直しと旧南小学校の代わりに北島調整区域内の市立運動広場を緊急避難場所に活用できないかと質問をしました。

市は、「市立運動広場をはじめ他の施設についても有効な活用

方法を探り検討していく」と答弁をしました。



プールの建替えは 財政的にもメリット

学校プールの建替えの必要性について水道料金や下水道料金の試算を示し、財政面からも質問しました。32年～50年の古いプール(14校)には水質浄化装置がないため、1シーズン(6月～9月)に水の入れ換えを水質保持の為に15回しています。

最新式の水質浄化装置にすれば

水の入れ換えは、約2回にする事が出来ます。そうすれば水道料金の節約にもつながることを指摘しました。

答弁で、「学校施設全般の改善整備計画のなかで、その(優先)順位を含め研究したい」と述べました。

学校プールの 水道料金・下水料金比較

12年間で

156.7%アップ

	1992年	2005年
水道料	66,090円	111,510円
下水道料	35,840円	48,220円
合計	101,930円	159,730円

1校300トンで試算

浄化装置を新設すると

1シーズン1校当り

約**270万円**の節約



かめちゃんの
市政かわら版